

# 組織の健康診断 いたします!!

OMAC  
Organization Management Assessment Center

組織は生き物です。健康な組織もあれば、病気にかかっている組織もあります。

あなたの会社は大丈夫ですか?《OMAC》は新しい視点から組織の健康状態を診断するユニークな組織診断システム。

社員のやる気や意思の疎通に気になる点があれば、あなたの会社も《OMAC》で健康診断してみませんか。

OMAC ケースファイル①

OMAC ケースファイル②

OMAC ケースファイル③

B社(メーカー) …創業60年、従業員1,500名、売上高700億円

## 自覚症状

うちの会社はいわゆるプロ集団。みんな自分の専門領域で能力を最大限に発揮して、生き生きとして働いているよ。ただ、一人ひとりはいかにも、組織として同じ方向に向けて頑張っているのかな? 自分の意思が最前線でお客様にサービスを提供しているスタッフまでしっかり浸透しているのか? 彼らの動きを見るとそこが不安になる…。[社長談]

## OMAC -7つの要素を診断-

環境変化に  
気づく力

気づきを行動に  
変える力

行動を持続する力

情報感度

コミュニケーション

オペレーションⅠ  
対外的

意思決定の  
スピード

モチベーション

オペレーションⅡ  
対内的

倫理

## 診断結果

「部分最適症候群」にかかっています。放っておくと組織全体の力が発揮できなくなってしまいます。組織が環境変化に適応し存続していくためには、メンバー全員が組織の目的・方針を共有し、力を結集して組織としての高い成果を出しつづけていくことが必要です。しかしながら、この会社では、トップの環境変化に応じた柔軟な方針の見直しと迅速な意思決定が構成メンバーまで伝わっていないようです。特にトップによる意志決定の目的・背景が現場まできちんと伝わっていない可能性があり、メンバーの理解・納得が得られぬまま数値目標だけが先行してしまっているようです。そのため、自分の担当領域における目標達成を目指すことだけに注力することになり、メンバー間・部門間の連携がとられず、組織力を活かした成果につながっていない状態のようです。

## 将来予測

トップの意思(その会社が向かうべき方向)が組織を構成するメンバーの一人ひとりにしっかりと伝わり、理解されているということは経営の重要なポイントです。トップの意思が伝わっていないと、自部門さえ良ければいいという部分最適の発想が強くなり、全体最適な動き(要するに組織力の発揮)ができなくなります。この状態を放置しておく、やがては品質の劣化、あるいはお客様を考えないプロダクトアウトのものづくりが横行し、市場ニーズから外れていく可能性があります。

この続きはホームページで!

※このケースは実際の診断に基づき、広告用に短く編集し直したものです。

組織がかかりやすい病気を解説した  
小冊子がダウンロードできます。

※小冊子のダウンロードには簡単なアンケートへのご回答が必要になります。

お申し込み・お問い合わせは

<http://www.omac.jp/>

株式会社経営科学センター

東京都千代田区九段南2-4-11九段南オギムラビル4F  
電話:03-3261-4780 メール:bsc@bs-center.jp

開発元:(株)ソシオテック研究所

BSC  
Business Science Center